

保健だより

発行：智頭農林高等学校保健室
＜9月号＞令和3年9月21日
テーマ：歯の健康、新型コロナ対策

夏休みが終わり、新学期が始まりました。今年は猛暑日が続いたり、鳥取県内でも新型コロナウイルス特別警報が発令されたりと、心も体も少し疲れがたまっているのではないのでしょうか。まずは、生活のリズムを整えることから始めてみましょう。

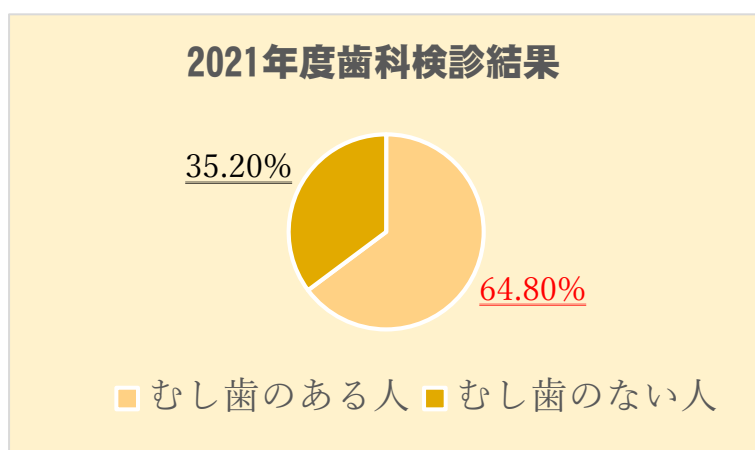


一生を支える大事な歯



今年度の歯科検診では、学校歯科医の先生から「口腔内の清掃が不十分な生徒が多くみられる」とのご指摘がありました。食事のあとは、歯磨きを丁寧に行いましょう。夏休み前の保護者会で『歯・口の健康診断結果と受診のすすめ』を配布しています。歯医者さんでの治療が済みましたら、担任の先生または保健室に提出をお願いします。

健康診断で歯科検診があるのは高校生まで！



社会人になってからの健康診断では、口の中の状態までは診てもらうことができません。本校の生徒は、半数以上がむし歯を保有している状態です。高校生の内に治療を済ませ、規則的な食事と歯磨きの習慣を身に付けましょう。

接種が進む新型コロナワクチン

高校生の皆さんにも新型コロナウイルスのワクチン接種券が配布されたと思います。接種するかしないかは家族を含め、保護者もしくは生徒自身が決めることであり、その結果、接種しないという選択も尊重されるべきものです。持病があるなど様々な理由で接種したくてもできない人がいることを理解し、接種を受けていない人への差別的行為は絶対にやめましょう。



新型コロナウイルス対策！基本の「き」

基本の「き」は、ものごとの第一段階という意味です。登校前と学校生活を中心にみなさんのコロナ対策を見直してみましょう。

1 登校前のコロナ対策

①毎朝の検温

毎朝、自宅で検温し、健康チェック表に記入します。

②マスク着用

自宅を出る際に必ずマスクをします。



2 学校のコロナ対策

①アルコール消毒

消毒器が玄関、各教室、トイレなどに設置されています。また、朝清掃の時には除菌グッズを利用してドアノブや電気のスイッチなどのよく手の触れるところを消毒しています。

②自動検温器

検温を忘れた生徒のために生徒ホール前に高性能の自動検温器を設置しています。

③換気の徹底

廊下側の上部の窓を常に半開し、休憩時間には扉や窓を開けるなど、換気の徹底に努めています。

④保健委員による昼休憩の放送と教員による巡視

昼休憩開始直後に校内放送で、対面で食事しない、喚起を徹底する、ソーシャル・ディスタンスを守るといった注意喚起をしています。その後、先生が巡視をしています。

⑤ソーシャル・ディスタンスの配慮

教室の机の間隔、集会時の生徒同士の間隔を1 m程度にしています。最初は間隔をとるのに手間取っているようでしたが、今は比較的スムーズに整列できていますね。

感染力の強い変異株 引き続き対策を徹底しよう！

現在、主流となっている変異株（デルタ株）の感染力はインフルエンザの4倍ともいわれ、全国の高校でもクラスター（集団感染）が複数報告されています。また、ワクチン接種が進んでいる国でも、再度感染が拡大している状況にあるので、今後も感染症予防対策は継続していかなければなりません。インターンシップ、就職試験、学校祭の実施に向けても“自分たちができること”を一つ一つ続けていきましょう。

